

令和（ 5 ）年度 教科（ 国語 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

言語感覚を豊かにし，思考力や想像力を養い，自らの考えを適切に伝え合おうとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・話す表現（スピーチ、話し合い） ・書く表現（作文、レポート） ・書写作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ワークシート（記述） ・話す表現（スピーチ、話し合い） ・書く表現（作文、レポート） ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・提出物の工夫 ・国語ノート ・行動観察 	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数） （単元の主要な教材を示しています）	時数	他教科等との関連
1	4	言葉に出会う	野原はうたう	2	理科 美術
	5	1 学びをひらく	シンシュン／情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう【書】	10	
	6	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？／ちょっと立ち止まって話の構成を工夫しよう【話聞】	14	
	7	3 言葉に立ち止まる	書写（硬筆・毛筆）	5	
2	8	4 心の動き	詩の世界／比喩で広がる言葉の世界 大人になれなかった弟たちに・・・ 星の花が降るころに	7	道徳（平和）
	9		聞き上手になろう【話聞】	18	
	10	5 筋道を立てて	項目を立てて書こう【書】 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を示して説明しよう【書】	16	
	11		話題や展開を捉えて話し合おう【話聞】	10	
3	12	6 いにしえの心にふれる	大阿蘇 いろは歌「竹取物語」「矛盾」 書写（硬筆・毛筆）	10	理科 技術・家庭科
	1	7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう【書】	11	
	2	8 自分を見つめる	少年の日の思い出／随筆二編 構成や描写を工夫して書こう【書】	12	
	3		一年間の学びを振り返ろう【話聞・書】 書写（硬筆・毛筆）	5	
通年		言葉／漢字／文法	漢字 1・2・3 文法への扉 1・2・3 言葉 1・2・3	20	
総時数	140 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 社会 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）社会的事象に対して，高い関心や知識を持って自ら課題を見つけ，様々な資料を取捨選択し，自分の考えをまとめ，筋道を通して表現する力を高め，その意義や特色などを理解する力を身に付けるようにする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期試験) レポート (学習内容の整理，記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言・記述・返答内容)	ペーパーテスト (定期試験) レポート (事象の整理，資料の活用，記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言・記述・行動内容)	振り返りシート レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言・記述内容・態度)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容(時数)	時数	他教科等 (道徳)との関連
1	4	地理 ・世界と日本の姿	・世界の姿(7)，日本の姿(6) ・世界各地の人々の生活と環境(10) ・歴史をとらえる見方・考え方(4) ・身近な地域の歴史(4) ・世界の古代文明と宗教のおこり(7)	23	数学 理科
	5	・世界のさまざまな地域			
	6	歴史 ・歴史へのとびら		15	書写・国語
	7				
2	8	地理 世界の諸地域①	・アジア州(8)・ヨーロッパ州(7) ・アフリカ州(5) ・日本列島の誕生と大陸との交流(5) ・古代国家の歩みと東アジア世界(10)	20	英語
	9				
	10	歴史 ・古代までの日本		15	理科
	11				
3	12	地理 世界の諸地域②	・北アメリカ州(6) ・南アメリカ州(5)・オセアニア州(5) ・武士の政権の成立(7) ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開(9)	16	
	1				
	2	歴史 ・中世の日本		16	国語
3	3				
総時数	105 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 数学 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

事象を数学的に捉え考察することができ、数学的な根拠を明確にししながら自らの考えを説明できる力をつける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト)	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト)	振り返りシート 行動観察 (発言、記述、行動内容) 課題への取り組み方	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	正の数・負の数	○正の数・負の数(5) ○加法・減法(8)	28	理科
	5		○乗法・除法(15)		
	6	文字式	○文字式(9) ○式の計算(10)	19	理科
	7	1次方程式	○1次方程式(10)		理科
2	8		○1次方程式の利用(8)	18	
	9	比例と反比例	○関数(3) ○比例(8) ○反比例(5)	16	理科
	10		○比例と反比例の利用(5) ○平面図形の基礎(6)		技術、美術
11	平面図形	○いろいろな図形(7) ○図形の移動(6)	24		
3	12		○空間図形の基礎(6) ○立体のいろいろな見方(3)	9	技術、美術
	1	空間図形	○図形の計量(9) ○資料の傾向の調べ方(6)		理科
	2	資料の活用	○資料の活用(11)	26	
3					
総時数	140時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 理科 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 単元テスト・小テスト 個人レポート・ファイル・ノート 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	定期テスト 単元テスト・小テスト 個人レポート・ファイル・ノート 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	定期テスト 自己評価シート 個人レポート・ファイル・ノート 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	(1) いろいろな生物とその共通点	ア 生物の観察と分類の仕方（10）	25	数学 保健体育 家庭 数学 技術
	5		イ 生物の体の共通点と相違点（15）		
	6	(1) 身の回りの物質	ア 物質のすがた（5）	30	
	7		イ 水溶液（10）		
2	8	(2) 身近な物理現象	ウ 状態変化（10）	25	
	9		ア 光と音（15）		
	10		イ 力の働き（10）		
3	11	(2) 大地の成り立ちと変化	ア 身近な地形や地層、岩石の観察（5）	25	社会 数学 技術・家庭 数学
	12		イ 地層の重なりと過去の様子（10）		
	1		ウ 火山と地震（10）		
総時数	105時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 音楽 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

音楽活動を主体的・協働的に楽しみながら音楽に関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身に付け、音楽に親しみ、生活を豊かなものにしようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	音楽の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	実技テスト（実技発表） 授業中の学習の様子 定期テスト	実技テスト（実技発表） 授業中の学習の様子 鑑賞レポート（記述内容） ワークシート 定期テスト	自己評価カード ワークシート 感想文 レポート 授業中の学習の様子 定期テスト	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	・曲想の変化と楽器の音色	・ヴィヴァルディの協奏曲「四季」	4	社会（歴史）
	5	・アルトリコーダーの導入	・アルトリコーダーの基本奏法	5	理科（音の性質）
	6	・曲の形式と構成	・「主人は冷たい土の中に」（二部形式）	4	社会
	7	・合唱の喜び	・混声3部合唱「カリブ夢の旅」	5	国語・道徳
	8				
2	9	・日本の歌・心の歌	・「赤とんぼ」「浜辺の歌」	3	国語（詩の世界）
	10	・日本の民謡	・「ソーラン節」「音戸の舟歌」郷土の音楽	3	社会（地理・歴史）
	11	・日本の伝統音楽	・箏曲「六段の調」雅楽「越天楽」	4	社会（歴史）
	12	・日本の楽器に親しむ	・箏実演と創作「さくらさくら」	6	社会（歴史）
3	1	・曲想の変化と歌曲	・シューベルトのリート「魔王」「野ばら」	4	国語（詩の世界）
	2	・アルトリコーダーの基礎	・アルトリコーダーの高音と低音の奏法	4	理科（音の性質）
	3	・合唱の喜び	・混声3部合唱「旅立ちの日に」	3	国語・道徳
総時数	45 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 美術 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】

造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上
評価方法	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	美術って何だろう	美術ではどんなことを学ぶのか	2	国語
	5	文字をデザインする	生活の中で使われている文字	2	
		文字で楽しく伝える	形や色を工夫し文字をデザインする	7	
	6	どれで描く どれで塗る	イメージに合った表現のために	1	
	7	色や光の特徴を知ろう	色の仕組みを学ぶ	2	
	8	自然の形や色を見つめて	自然物の形や色を表す工夫をする	3	
		描いてみよう	立体感をあらわすために		
		見つめ、感じ取り、描く	身近なものを見つめ、スケッチする	6	
2	10	風神雷神、自然と人と	作品の見方考え方を深める	1	道徳
	11	さまざまな描き方	描き方の幅に広がりをもたせる	2	
	12	絵から物語をつぐむ	自分なりの物語を想像する	2	国語
3	1	生活をいろいろ文様	生活との関わりや工夫・願いを感じ取る	2	数学
	2	印象に残るシンボルマーク	意味を込めて印象に残る工夫をする	3	
		気持ちを伝えるデザイン	気持ちを伝えるための工夫をする	7	
	3	形や材料を比べてみよう	場面や目的に合った工夫を感じ取る	1	技術
		材料に命を吹き込む	材料による表現の面白さを感じ取る	4	
総時数	45 時間				

令和（ 5 ）年度 教科（ 保健体育 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

主体的にスポーツや自分の健康に関心を持ち、生涯にわたって、健康に関心を持ちスポーツができる人になる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード（記述内容） 副教材（資料ノート） ペーパーテスト（期末テスト） 行動観察（実技の形成的評価） 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード（記述内容） 副教材（資料ノート） ペーパーテスト（期末テスト） 行動観察（協働性、コミュニケーション能力、表現活動） 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード（記述内容） 副教材（資料ノート） ペーパーテスト（期末テスト） 行動観察（発言、欠席、道具準備） 実技テスト 	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との連携
1	4	体づくり運動	体ほぐしの運動，体力を高めるための運動	16	
	5	陸上競技	短距離走，リレー	7	
	6	球技 ネット型	バレーボール	5	
	7	水泳	クロール，平泳ぎ	8	
2	8				
	9	球技 ネット型	バレーボール	5	
	10	武道	柔道	8	
	11	器械運動	マット運動，跳び箱運動	10	
3	12	球技 ゴール型	サッカー	9	
	1	陸上競技	長距離走	9	
	2	ダンス		9	
通年		体育理論	スポーツの多様性	3	
		保健	健康な生活と病気の予防① 心身の発達と心の健康	16	家庭分野，理科

総時数 時間

105 時間

令和（ 5 ）年度 教科（技術・家庭科（技術分野））第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力、資質・能力）

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト ワークシート・振り返り 学習ノート 作品	定期テスト ワークシート・振り返り 作品	定期テスト ワークシート・振り返り 学習ノート 作品	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	ガイダンス	技術の役割, 技術の見方・考え方(4)	4	社会 理科 数学
	5	【A材料と加工の技術】	材料や加工の特性(3)	6	
	6	生活や社会を支える材料と加工の技術	製図(3)	15	
	7	材料と加工の技術による問題の解決	問題解決の流れ(2) 問題の発見と課題の設定(2)		
2	8		製作品の設計(3) 製作品の製作(8)	3	社会
	9				
	10	社会の発展と材料と加工の技術	これからの材料と加工の技術(3)		
3	11			4	道徳
	12	【D情報の技術】	コンピューターの基本操作・情報モラル(4) D		
	1	生活や社会と情報の技術			
3	2	【B生物育成の技術】	生物の成長などの原理・法則・基礎的な技術の仕組み(3)	3	理科
	3	生活や社会を支える生物育成の技術			
総時数	35時間				

令和（５）年度 教科（技術・家庭科（家庭分野））第（ １ ）学年年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

自立と共生を目指し，生活の中の問題に向き合って，課題を見つけ，解決する力を身に付けることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	活動状況（実習） ワークシート（記述内容） 作品 実技テスト 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 振り返りシート（記述内容） 作品 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 自己評価カード（記述内容） 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連		
1	4	家庭分野のガイダンス	自立と共生を目指そう（１）	1	道徳		
	5	家族・家庭と地域	中学生としての自立（２）	2			
	6	私たちの衣生活	どうして衣服を着るのだろう（２）	2			
	7	衣服の選択と手入れ	私らしさとT.P.O～着方の工夫～（２）	2			
2	9	生活を豊かにするために	日本の衣文化（１）	1	社会		
	10		衣服計画と必要な衣服の選択（１）	1			
	11		衣服の手入れ（４）	4			
	12		作って楽しい布作品（８）	8			
3	1	私たちの食生活	どうして食事をするのだろう（２）	2	理科		
	2		栄養素ってなんだろう（２）	2			
	3		食事の役割と中学生の栄養の特徴	中学生に必要な栄養素（２）		2	保健体育
			中学生に必要な栄養を満たす食事	食品に含まれる栄養素（２）		2	
		何をどれくらい食べればよいか（２）	2				
		日常食の調理と地域の食文化	日常食の調理（４）	4			
総時数	35 時間						

令和（ 5 ）年度 教科（ 外国語 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) パフォーマンステスト (記述や発話内容) リスニングテスト	ペーパーテスト (定期テスト) パフォーマンステスト (記述や発話内容)	活動への取り組み (活動観察、振り返り記述内容) パフォーマンステスト (活動観察) 提出物(記述内容)	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	Unit0 Welcome to Junior High School Unit1 New School, New Friends	○英語を読んだり書き写したりする ○自分がすることやできることを伝える	8 10	社会
	5	Unit2 Our New School	○身近な人やものについて、たずねたり答えたりする	10	
	6	Unit3 Club Activity	○いつ・どこなのか、数をたずねたり答えたりする	10	
	7	Unit4 Friends in New Zealand	○相手に指示をしたり、時刻や好きなものをたずねたり答えたりする。	10	
	8	Unit5 A Japanese Summer	○行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話す。	12	
2	9	Unit6 A Speech about My Brother	○第三者やものについてたずねたり、伝えたりする。	12	社会, 家庭
	10	Unit7 Foreign Artists in Japan	○どちらなのか、だれのものかなどをたずねたり答えたりする。	12	国語
	11	Unit8 A Surprise Party	○今していることについて説明したり、たずねたりする。	12	社会
12	Unit9 Think Globally, Act Locally	○したいことなどについて説明したり、たずねたりする。	12		
3	1	Unit10 Winter Vacation	○過去の出来事を説明したり、たずねたりする。	12	社会
	2	Unit11 This Year's Memories	○過去の状態や気持ち、過去でしていたことなど説明する。	12	
	3	Let's Read	○物語を読んで、状況や人物の心情を読み取る。	8	
総時数	140 時間				